

1993 Kaiser/HRET Survey of Employer-Sponsored Health Benefits 1993-2013 KPMG Survey of Employer-Sponsored Health Benefits 1993-1996 The Health Insurance Association of America (H.I.A.) 1993

Year	PO	HMO	POS	Other
1988	73%	16%	1%	10%
1993	46%	21%	26%	7%
1996	27%	31%	28%	14%
2002	27%	51%	18%	4%
2005	3%	61%	15%	19%
2008	2%	58%	8%	32%
2010	1%	19%	59%	13%
2011	1%	16%	55%	17%
2012	1%	15%	55%	19%
2013	1%	14%	56%	20%

米国民労者加入健康保険の年次推移 1988-2013

● 米国労者加入健康保険の年次推移 1988-2013

1988年：PO 73%、HMO 16%、POS 1%、その他 10%

1993年：PO 46%、HMO 21%、POS 26%、その他 7%

1996年：PO 27%、HMO 31%、POS 28%、その他 14%

2002年：PO 27%、HMO 51%、POS 18%、その他 4%

2005年：PO 3%、HMO 61%、POS 15%、その他 19%

2008年：PO 2%、HMO 58%、POS 8%、その他 32%

2010年：PO 1%、HMO 19%、POS 59%、その他 13%

2011年：PO 1%、HMO 16%、POS 55%、その他 17%

2012年：PO 1%、HMO 15%、POS 55%、その他 19%

2013年：PO 1%、HMO 14%、POS 56%、その他 20%

米国労者加入健康保険の年次推移

米国労者加入健康保険の年次推移

● 米国労者加入健康保険の年次推移 1988-2013

1988年：PO 73%、HMO 16%、POS 1%、その他 10%

1993年：PO 46%、HMO 21%、POS 26%、その他 7%

1996年：PO 27%、HMO 31%、POS 28%、その他 14%

2002年：PO 27%、HMO 51%、POS 18%、その他 4%

2005年：PO 3%、HMO 61%、POS 15%、その他 19%

2008年：PO 2%、HMO 58%、POS 8%、その他 32%

2010年：PO 1%、HMO 19%、POS 59%、その他 13%

2011年：PO 1%、HMO 16%、POS 55%、その他 17%

2012年：PO 1%、HMO 15%、POS 55%、その他 19%

2013年：PO 1%、HMO 14%、POS 56%、その他 20%

米国労者加入健康保険の年次推移

● 米国労者加入健康保険の年次推移 1988-2013

1988年：PO 73%、HMO 16%、POS 1%、その他 10%

1993年：PO 46%、HMO 21%、POS 26%、その他 7%

1996年：PO 27%、HMO 31%、POS 28%、その他 14%

2002年：PO 27%、HMO 51%、POS 18%、その他 4%

2005年：PO 3%、HMO 61%、POS 15%、その他 19%

2008年：PO 2%、HMO 58%、POS 8%、その他 32%

2010年：PO 1%、HMO 19%、POS 59%、その他 13%

2011年：PO 1%、HMO 16%、POS 55%、その他 17%

2012年：PO 1%、HMO 15%、POS 55%、その他 19%

2013年：PO 1%、HMO 14%、POS 56%、その他 20%



● 米国労者加入健康保険の年次推移 1988-2013

米国労者加入健康保険の年次推移

● 米国労者加入健康保険の年次推移 1988-2013

1988年：PO 73%、HMO 16%、POS 1%、その他 10%

1993年：PO 46%、HMO 21%、POS 26%、その他 7%

1996年：PO 27%、HMO 31%、POS 28%、その他 14%

2002年：PO 27%、HMO 51%、POS 18%、その他 4%

2005年：PO 3%、HMO 61%、POS 15%、その他 19%

2008年：PO 2%、HMO 58%、POS 8%、その他 32%

2010年：PO 1%、HMO 19%、POS 59%、その他 13%

2011年：PO 1%、HMO 16%、POS 55%、その他 17%

2012年：PO 1%、HMO 15%、POS 55%、その他 19%

2013年：PO 1%、HMO 14%、POS 56%、その他 20%

5月1日

この日は...

25日

この日は...

20日

この日は...

15日

この日は...

10日

この日は...

5日

この日は...

医科大学教育改善計画

その目的と進捗状況

この計画は、大学の教育水準を向上させることを目的として策定されたものである。

具体的には、カリキュラムの刷新、教授陣の強化、そして学生へのサポート体制の整備が主要な取り組みとして挙げられる。

また、最新の教育技術を取り入れ、学習環境の改善も重要な目標の一つである。

因漢大卒業生名簿

年次	学年	学科	名簿
1915	第1学年	理	15名
	第2学年	理	18名
	第3学年	理	20名
	第4学年	理	22名
1916	第1学年	理	17名
	第2学年	理	20名
	第3学年	理	23名
	第4学年	理	25名

この表は、因漢大学の卒業生名簿の一部を示している。



新学新学

新しい知識、新しい視点。世界を舞台に活躍せよ。

因漢大学 新学新学

植林医術の歴史

この本は、日本の植林医術の歴史を、その発展の過程、その特徴、その現状、その将来について、詳しく説明している。植林医術は、自然の恵みを享受し、健康を維持する上で重要な役割を果たしている。この本を通じて、植林医術の重要性を認識し、その発展に貢献したいと願っている。

この本は、植林医術の歴史を、その発展の過程、その特徴、その現状、その将来について、詳しく説明している。植林医術は、自然の恵みを享受し、健康を維持する上で重要な役割を果たしている。この本を通じて、植林医術の重要性を認識し、その発展に貢献したいと願っている。

この本は、植林医術の歴史を、その発展の過程、その特徴、その現状、その将来について、詳しく説明している。植林医術は、自然の恵みを享受し、健康を維持する上で重要な役割を果たしている。この本を通じて、植林医術の重要性を認識し、その発展に貢献したいと願っている。

() 内数字は超専門医追加訓練年数

病種	昭和	再認	可年	超専門
病種	1938	1941	3(1)	2
皮膚科	1971	1971	2(3)	10
皮膚科	1932	1933	3(1)	10
皮膚科	1917	1933	4(0)	10
皮膚科	1924	1933	4(1)	2
精神神経科	1934	1935	4(0)	5
精神神経科	1969	1969	3(0)	7
精神神経科	1969	1969	3(0)	7
一般内科	1936	1936	3(0)	10
一般内科	1934	1941	4(2)	7
一般内科	1980	1991	2(2)	10
一般内科	1971	1971	2(1)	10
一般内科	1933	1933	3(0)	7
一般内科	1948	1949	2(1)	17
一般内科	1937	1937	5(0)	10
一般内科	1937	1937	5(0)	10
一般内科	1917	1933	5(0)	10
一般外科	1937	1937	5(0)	10
一般外科	1940	1940	5(1)	1
一般外科	1950	1970	2(5)	10
一般外科	1935	1949	1(5)	8
一般外科	1930	1933	4(0)	10
一般外科	1935	1935	3(2)	10
一般外科	1934	1935	4(0)	9
一般外科	1936	1936	4(0)	9

専門医訓練課程改革を

専門医訓練課程改革を

この本は、植林医術の歴史を、その発展の過程、その特徴、その現状、その将来について、詳しく説明している。植林医術は、自然の恵みを享受し、健康を維持する上で重要な役割を果たしている。この本を通じて、植林医術の重要性を認識し、その発展に貢献したいと願っている。

この本は、植林医術の歴史を、その発展の過程、その特徴、その現状、その将来について、詳しく説明している。植林医術は、自然の恵みを享受し、健康を維持する上で重要な役割を果たしている。この本を通じて、植林医術の重要性を認識し、その発展に貢献したいと願っている。

新報



この本は、植林医術の歴史を、その発展の過程、その特徴、その現状、その将来について、詳しく説明している。植林医術は、自然の恵みを享受し、健康を維持する上で重要な役割を果たしている。この本を通じて、植林医術の重要性を認識し、その発展に貢献したいと願っている。

この本は、植林医術の歴史を、その発展の過程、その特徴、その現状、その将来について、詳しく説明している。植林医術は、自然の恵みを享受し、健康を維持する上で重要な役割を果たしている。この本を通じて、植林医術の重要性を認識し、その発展に貢献したいと願っている。

2025年の医療提供体制(廣瀬氏作成)

病床数
平均稼働率
平均在院日数

ICU	6万	90%程度	3~9日
高度療養病棟	18万	90%程度 退院患者数 25万人(月)	12日程度 退院患者数 25万人(月)
一般療養病棟	45万	90%程度 退院患者数 82万人(月)	9日程度 退院患者数 82万人(月)
緩和医療病棟	3万	90%程度	35日程度
高度看護医療中間施設	20万	90%程度	270日程度
長期療養性看護施設	35万	90%程度	270日程度
特別療養性看護施設	認知症 72万人分 身障者 59万人分	-	-
段階療養病棟	特別施設 61万人分 グループホーム 24万人分 在宅サービス 37万人分	-	-

看護職の役割を

看護職の役割を

看護職の役割は、単に患者のケアを行うだけでなく、患者の生活の質を向上させること、患者の心理的ケアを行うこと、患者の社会的役割を回復させることなど、多岐にわたります。

看護職は、患者の身体的ケアだけでなく、心理的ケアや社会的ケアも行うことが求められています。また、患者の生活の質を向上させることも重要な役割です。

看護職は、患者の身体的ケアだけでなく、心理的ケアや社会的ケアも行うことが求められています。また、患者の生活の質を向上させることも重要な役割です。



トリプルセブンの役割

国名	顧客数
THAILAND	200万
HUNGARY	150万
INDIA	100万
SINGAPORE	100万
MALAYSIA	55万
POLAND	50万
PHILIPPINE	40万
USA	25万
COSTA RICA	25万
BRAZIL	15万
MEXCO	10万
SOUTH KOREA	10万
COLONIA	8万
BELGIUM	6万
TURKEY	6万

メライカルソーリズム供給国 2011年

「メライカルソーリズム」の顧客数は、2011年現在、約200万に達している。これは、メライカルソーリズムが、世界中の多くの国々に展開していることによる。メライカルソーリズムは、健康と美容を重視する人々にとって、最適なソリューションを提供している。メライカルソーリズムは、世界中の多くの国々に展開している。メライカルソーリズムは、健康と美容を重視する人々にとって、最適なソリューションを提供している。

観光業への協力が必要

観光のインフラ整備が重要

観光業は、国の経済成長に大きく貢献している。観光客の増加は、国の収入を増やし、雇用の創出に大きく貢献している。観光業は、国の経済成長に大きく貢献している。観光客の増加は、国の収入を増やし、雇用の創出に大きく貢献している。観光業は、国の経済成長に大きく貢献している。観光客の増加は、国の収入を増やし、雇用の創出に大きく貢献している。

新エネルギー
New Energy

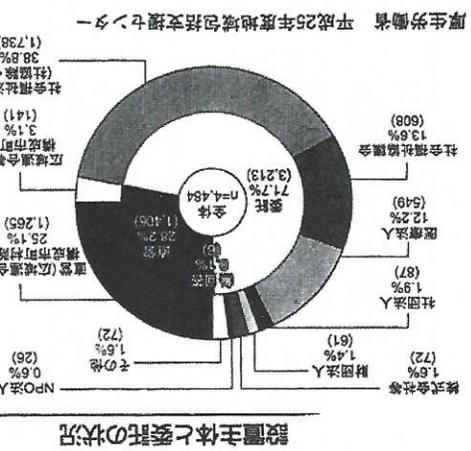
大塚 昭一

業、及び各業への指導の役割を担うことになり、その中で、大塚氏は、大塚建設の社長として、大塚建設の発展に貢献した。大塚氏は、大塚建設の社長として、大塚建設の発展に貢献した。大塚氏は、大塚建設の社長として、大塚建設の発展に貢献した。

大塚氏は、大塚建設の社長として、大塚建設の発展に貢献した。大塚氏は、大塚建設の社長として、大塚建設の発展に貢献した。大塚氏は、大塚建設の社長として、大塚建設の発展に貢献した。

大塚建設の発展と大塚氏の功績

大塚氏の功績と大塚建設の発展



大塚氏は、大塚建設の社長として、大塚建設の発展に貢献した。大塚氏は、大塚建設の社長として、大塚建設の発展に貢献した。大塚氏は、大塚建設の社長として、大塚建設の発展に貢献した。

大塚氏は、大塚建設の社長として、大塚建設の発展に貢献した。大塚氏は、大塚建設の社長として、大塚建設の発展に貢献した。大塚氏は、大塚建設の社長として、大塚建設の発展に貢献した。

大塚建設の発展と大塚氏の功績

1942年11月11日

本院は、昭和17年、東京市豊島区に創設され、以来、社会の発展と共に、医療の進歩と共に、不断の発展を遂げてまいりました。昭和22年、東京市豊島区に本院を創設し、以来、社会の発展と共に、医療の進歩と共に、不断の発展を遂げてまいりました。

本院は、昭和17年、東京市豊島区に創設され、以来、社会の発展と共に、医療の進歩と共に、不断の発展を遂げてまいりました。昭和22年、東京市豊島区に本院を創設し、以来、社会の発展と共に、医療の進歩と共に、不断の発展を遂げてまいりました。

自治体病院を核とした新病院

自治体病院を核とした新病院

新病院
自治体病院を核とした新病院

本院は、昭和17年、東京市豊島区に創設され、以来、社会の発展と共に、医療の進歩と共に、不断の発展を遂げてまいりました。昭和22年、東京市豊島区に本院を創設し、以来、社会の発展と共に、医療の進歩と共に、不断の発展を遂げてまいりました。

本院は、昭和17年、東京市豊島区に創設され、以来、社会の発展と共に、医療の進歩と共に、不断の発展を遂げてまいりました。昭和22年、東京市豊島区に本院を創設し、以来、社会の発展と共に、医療の進歩と共に、不断の発展を遂げてまいりました。

本院は、昭和17年、東京市豊島区に創設され、以来、社会の発展と共に、医療の進歩と共に、不断の発展を遂げてまいりました。昭和22年、東京市豊島区に本院を創設し、以来、社会の発展と共に、医療の進歩と共に、不断の発展を遂げてまいりました。

本院は、昭和17年、東京市豊島区に創設され、以来、社会の発展と共に、医療の進歩と共に、不断の発展を遂げてまいりました。昭和22年、東京市豊島区に本院を創設し、以来、社会の発展と共に、医療の進歩と共に、不断の発展を遂げてまいりました。

出典：全国自治体病院協議会「医師臨床研修制度に関する調査報告書」

項目	集計対象病院数	医師が不足している	集計対象病院に対する比率(%)
地方	694	296	42.7
北海道	65	50	76.9
東北	124	82	66.1
関東	10	16	14.5
北陸	62	40	64.5
信越	144	27	18.8
近畿	91	42	46.2
中国	98	39	39.8
九州	98	39	39.8

医師が不足している病院数・集計対象病院に対する比率

15
10
5

